

2019年評議員会および総会報告

2019年9月3日(火)の評議員会ならびに9月28日(土)の総会において承認された庶務、議事、会計について報告する。

議 事

1. 新評議員

会則第5条に基づき、2018年9月～2019年8月に准教授以上に就任した推薦対象25名のうち、査読の研鑽を積んでいないことを理由に不承諾された1名を除く以下24名を推薦し、承認され、評議員合計231名となった。

任期4年(2019年10月1日～2023年9月30日)

医学部

和田 雅樹 教授(母子総合医療センター) *

松村 剛毅 准教授(医療安全科)

横田 仁子 准教授(学生健康管理室)

田畑 務 教授・講座主任(産婦人科学) *

稲田 健 准教授(精神医学)

高橋 一志 准教授

(八千代医療センター神経精神科・心身医療科)

大谷 智子 准教授(東医療センター小児科)

水主川 純 准教授(母子総合医療センター)

小林 博人 准教授(東医療センター輸血部)

佐藤浩一郎 准教授(東医療センター検査科) *

三浦順之助 准教授(糖尿病・代謝内科学)

柳澤 慶香 准教授(糖尿病・代謝内科学)

小島 光暁 准教授(東医療センター救急医療科) *

中澤 匡男 教授

(八千代医療センター病理診断科) *

時田 大輔 教授(臨床研究推進センター) *

針谷 正祥 教授・講座主任(膠原病リウマチ内科)

降矢 芳子 教授

(東医療センターリハビリテーション科) *

石津 綾子 教授(顕微解剖学・形態形成学) *

塚原富士子 准教授(薬理学)

瀬戸 洋平 准教授

(八千代医療センターリウマチ膠原病内科)

中溝 宗永 准教授(耳鼻咽喉科) *

大坂 利文 准教授(微生物学免疫学)

佐藤加代子 准教授(循環器内科学)

看護学部

高畑 陽子 准教授(地域看護学) *

(就任順 *新任)

2. 集会における講師

「彌生先生を語る」の講師選定を至誠会会長に一任する現状を変更したい。現在、本学卒業生の動向調査を、大学史料室、医学部学務課、IR室で進めている。その中で彌生先生について語れる方の調査を学会として依頼し、卒業生外で語れる方も含め、候補者資料を作成する。卒業生講師のご高齢化と今後の継続性を考慮し、「彌生先生を語る」というタイトルを「彌生先生の〇〇を語る」などに変更することも検討する。

記念講演講師についても候補者資料を作成し、次回10月29日の集会担当幹事会で検討する。

3. 英文誌『Tokyo Women's Medical University Journal』のPMCへの申請進捗報告と海外査読候補者

議長: PMC申請条件を調査し、条件を満たすための

海外査読候補者を専門ジャーナルに影響力のある先生方へあげていただいたものが、お手元の資料の表である。そのほか論文数も条件になっているが、江崎太一教授退任記念号に掲載されている英文論文5篇はカウントできるのか?

澤田幹事長: カウントされない。退任記念号は、出版費が全額教室負担となり、論文以外にも教室の希望があれば業績や写真なども掲載する特殊なものである。今回の江崎教授退任記念号は、英文論文とともに訳文の掲載が希望され、二重投稿とみなされないよう配慮し、今回のような掲載発行となった。

PMC申請の最後のハードルとなっているのが論文数確保である。そのためCase Reportも広く受け入れるようにしている。

議長: Reviewをどなたかにアサインしたら達成できないか。例えば、ひと月2篇行えば5か月で10篇を達成できる計算になる。

澤田幹事長: 例えば、新任の先生にご自身のご専門について執筆していただく提案もされている。

唐澤幹事: Case Reportでも良いのか?

澤田幹事長: 構わない。研修医症例報告会での発表記録を症例報告として掲載していたが、開始2～3年はたくさん投稿されたが、最近はいま減っている。その原因は、指導医が忙しいこと、初期研修医のため負担が大きいなどと考えている。今は、医学部3年生の研究プロジェクトの報告論文も受け付けている。

唐澤幹事: 初期研修医は期日が来ると異動してしまうので、難しい面がある。例えば、学内研究会の発表記事をReviewとして執筆していただくのはいかがか?

議長: 半強制できるのはReviewだと思う。新任の先生、学内研究会に執筆をお願いしてください。

庶務報告

1. 会員(2019年3月末現在)

正会員は823名で、昨年報告した803名より20名多かった。

正会員 823名

学内 (うち未35名) 693名

学外 130名

(入会64名/退会79名)

名誉会員 106名

准会員 1,024名

特別会員 0名

計 1,953名

2. 東京女子医科大学雑誌(2018年1～12月)

冊子体は88巻臨時増刊号1回、88巻1～6号と英文誌の合本号1回、計2回発行した。電子版は88巻1～6号、臨時増刊号1回、計7回発行した。

3. Tokyo Women's Medical University Journal

(2018年1～12月)

創刊から2年目のVolume2は8篇を掲載した。

4. 集会(2018年1～12月)

第357回例会(2018年2月24日開催): 一般演題1題、研修医症例報告14題が発表された。

第358回例会(2018年5月22日開催): 「彌生先生を語る」は昭和31年本学卒業生の橋本葉子先生より、記念講演はピアニストの松下佳代子先生より「つな

ぐ 広げる」と題してピアノ演奏を交えお話しただいた。

第84回総会（2018年9月29日開催）：シンポジウムは「ここまで来た！心臓血管外科治療の最前線」をテーマに5名よりお話しただいた。

そのほか、評議員会1回、幹事会11回（集会6回／編集5回）を行った。

5. 記念楯（2018年1～12月）

学会主催2個、共催1個、その他4個の利用だった。

6. 新名誉会員《会則第4条、内規第1条による》

川名正敏名誉教授、高木耕一郎名誉教授、八木淳二名誉教授、日沼千尋名誉教授に名誉会員の称号をお贈りする。

7. 新幹事《会則第10条による》

2019年4月より、新たに集会担当幹事3名、編集担当幹事2名が就任した。

集会担当幹事

岩崎 直子 教授（成人医学センター）

村崎かがり 教授（予防医学科）

柳澤 直子 教授・講座主任

（医学部微生物学免疫学）

編集担当幹事

小島原典子 准教授（医学部衛生学公衆衛生学）

近藤 光子 教授（医学部呼吸器内科学）

8. 集会担当幹事会：

①東京女子医科大学学会内規 第4条 学術集会 3. 吉岡弥生記念講演会改訂 4)「弥生先生を語る」は、「本会が至誠会と協議の上、講師を選定し、至誠会と共催で開催する。」と改訂した。

〔追補〕9月9日の理事長・学長定例会の議事より、会議体に諮る必要を生じさせないことを理由に変更指示があり「…、本会が至誠会会長と協議の上、講師を選定し、…」と修正することとした。

②第85回東京女子医科大学学会総会（2019年9月28日（土）13:00より弥生記念講堂）では、総会と研究発表2題につづき、公開シンポジウム「輝く女性が未来を創る 女性医療の最前線」をテーマに4名にご講演いただく。

③第361回東京女子医科大学学会例会（2020年2月29日（土）13:00（予定）より総合外来センター5階 大会議室）では、現在、10月31日を期日に一般

演題・研修医症例報告を募集している。たくさんの応募をお待ちしている。

9. 編集担当幹事会より：

先の報告 PMC のほか、①英文誌において、オンライン投稿査読システム ScholarOne Manuscripts を10月1日より始動すること、②和文誌第90巻掲載シリーズ「炎症性疾患」が決定している。

（庶務担当幹事 内田啓子）

会計報告

2018年度収支決算ならびに2019年度収支予算を以下のとおり報告し、承認された。

1. 2018年度収支決算報告（2018年4月～2019年3月）

収入：会費収入4,412,000円、雑誌刊行収入1,547,316円、盾売却収入20,000円、雑収入277円で、当期収入合計は5,979,593円であった。

支出：学会開催に関わる集会費997,465円、雑誌刊行に関わる出版費5,218,764円、事務経費の経常費599,645円で、当期支出合計は6,815,874円であった。

結果：前期繰越金39,694,817円を加えた収入合計45,674,410円に対し支出合計6,815,874円で、結果38,858,536円の繰越金を計上した。

以上の結果について、石黒直子・中村史雄両監事の監査を受け、適正かつ公正であると認められている。

2. 2019年度収支予算報告（2019年4月～2020年3月）

収入：2018年度決算額をもとに、会費収入4,310,000円、雑誌刊行収入2,282,000円、盾売却収入20,000円、雑収入464円で、当期収入合計6,612,464円を計上した。

支出：集会費831,000円、出版費6,890,000円、経常費1,180,000円で、支出合計8,901,000円を計上した。集会費には、大学からの補助が得られなくなった吉岡弥生記念講演会の記念講演講師講演料を、出版費には、英文誌のオンライン投稿査読システム ScholarOne Manuscripts 導入費用を、経常費には、Windows 7サポート終了に伴うPC1台の購入費と校舎引越し準備金を、それぞれ計上している。

結果：前期繰越金38,858,536円を加えた収入合計45,471,000円に対し支出合計8,901,000円で、36,570,000円の繰越金を計上する見込みである。

（会計担当幹事 杉下智彦）

2018年度収支決算書（2018年4月～2019年3月）

収入の部				<単位:円>
科 目	2018年度予算額	2018年度決算額	差額	
前期繰越	39,694,817	39,694,817	0	
1. 会費収入	4,450,000	4,412,000	△ 38,000	
2. 雑誌刊行収入	3,569,000	1,547,316	△ 2,021,684	
3. 盾売却収入	20,000	20,000	0	
4. 雑収入	1,183	277	△ 906	
収入合計	47,735,000	45,674,410	△ 2,060,590	
支出の部				
科 目	2018年度予算額	2018年度決算額	差額	
1. 集会費	1,015,000	997,465	△ 17,535	
2. 出版費	9,005,000	5,218,764	△ 3,786,236	
3. 経常費	1,220,000	599,645	△ 620,355	
支出合計	11,240,000	6,815,874	△ 4,424,126	
次期繰越	36,495,000	38,858,536	2,363,536	

2019年度収支予算書（2019年4月～2020年3月）

収入の部				<単位:円>
科 目	2019年度予算額	2018年度予算額	増減	
前期繰越	38,858,536	39,694,817	△ 836,281	
1. 会費収入	4,310,000	4,450,000	△ 140,000	
2. 雑誌刊行収入	2,282,000	3,569,000	△ 1,287,000	
3. 盾売却収入	20,000	20,000	0	
4. 雑収入	464	1,183	△ 719	
収入合計	45,471,000	47,735,000	△ 2,264,000	
支出の部				
科 目	2019年度予算額	2018年度予算額	増減	
1. 集会費	831,000	1,015,000	△ 184,000	
2. 出版費	6,890,000	9,005,000	△ 2,115,000	
3. 経常費	1,180,000	1,220,000	△ 40,000	
支出合計	8,901,000	11,240,000	△ 2,339,000	
次期繰越	36,570,000	36,495,000	75,000	